

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

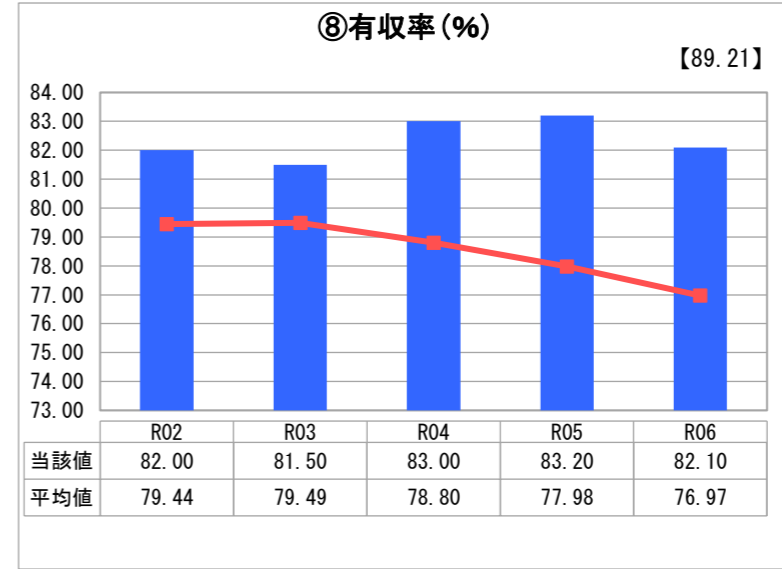
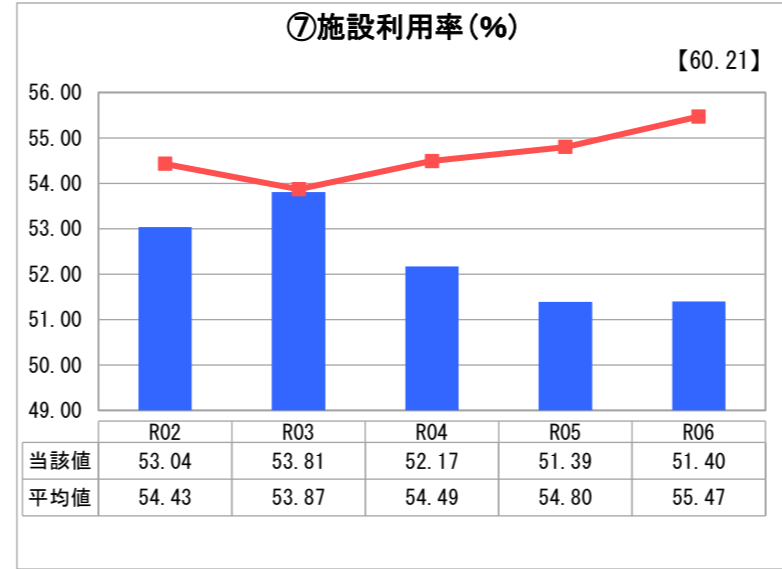
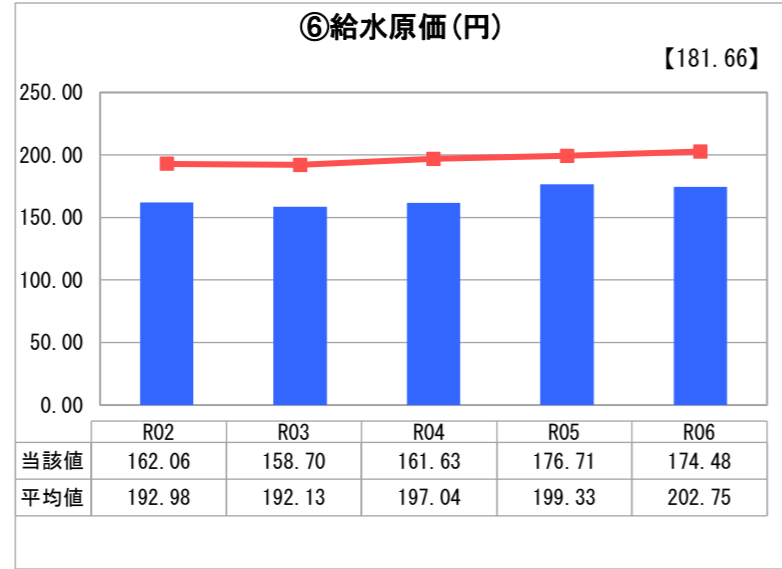
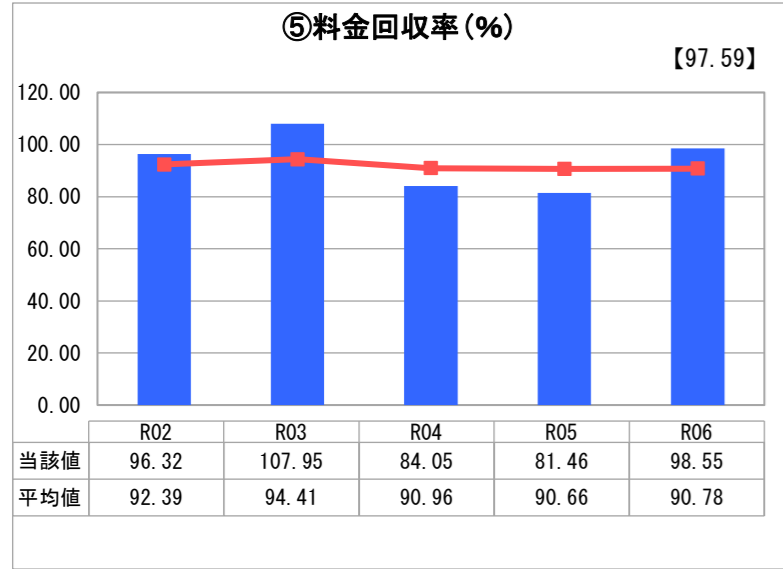
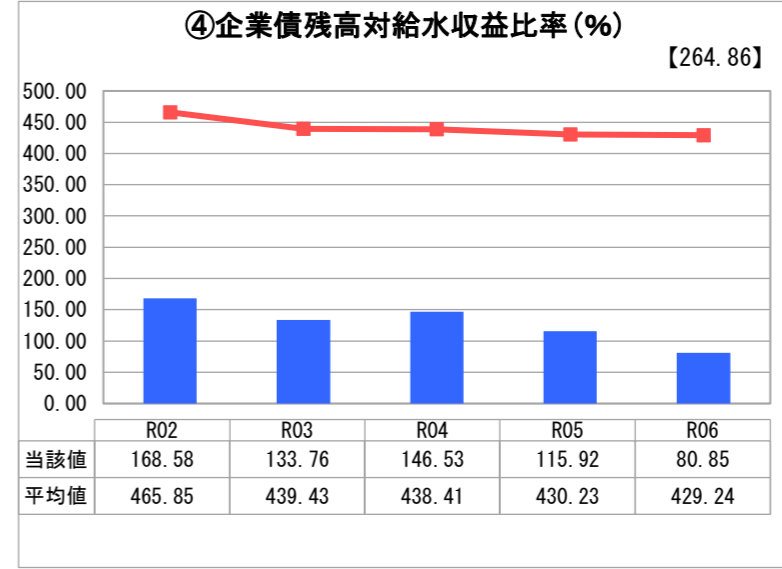
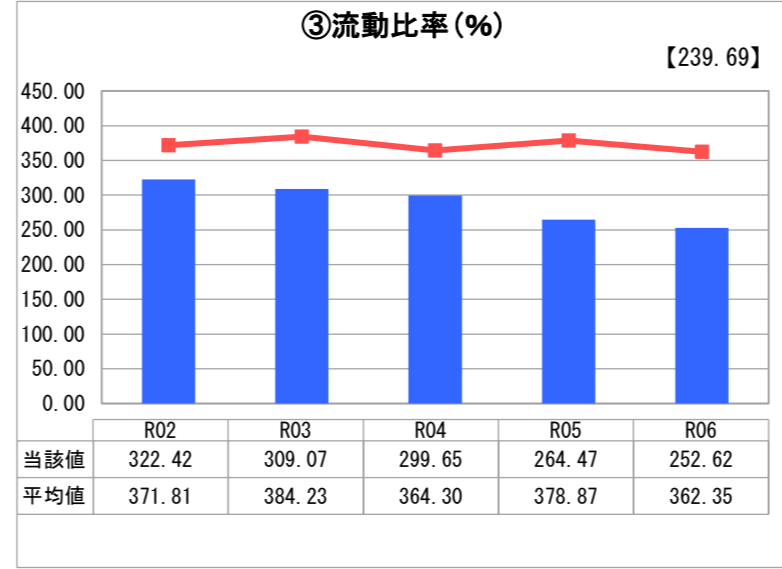
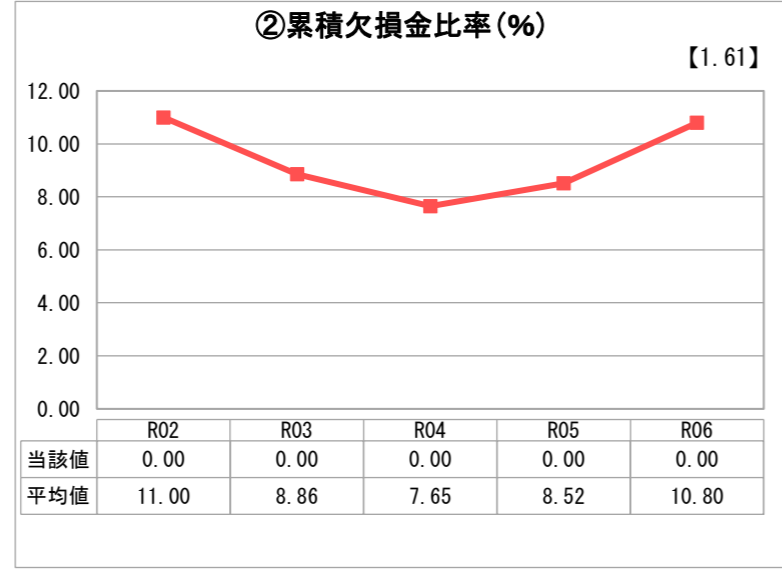
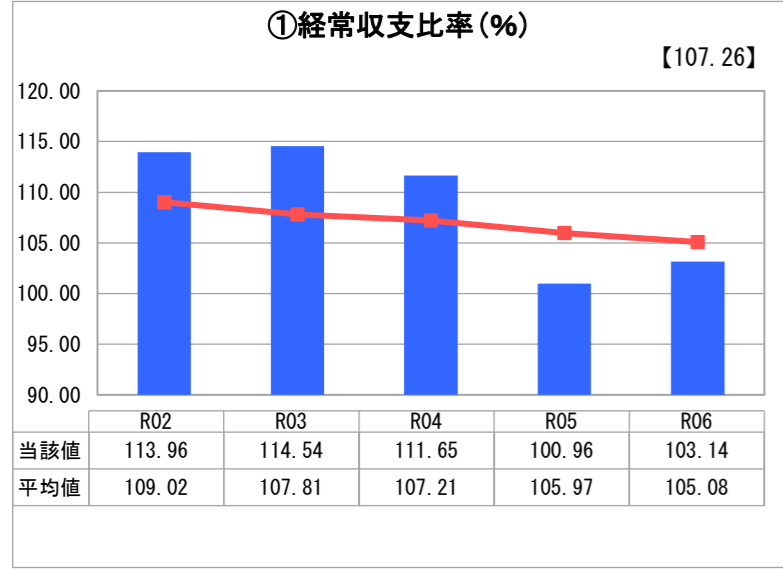
埼玉県 神川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	89.60	99.20	3,190	

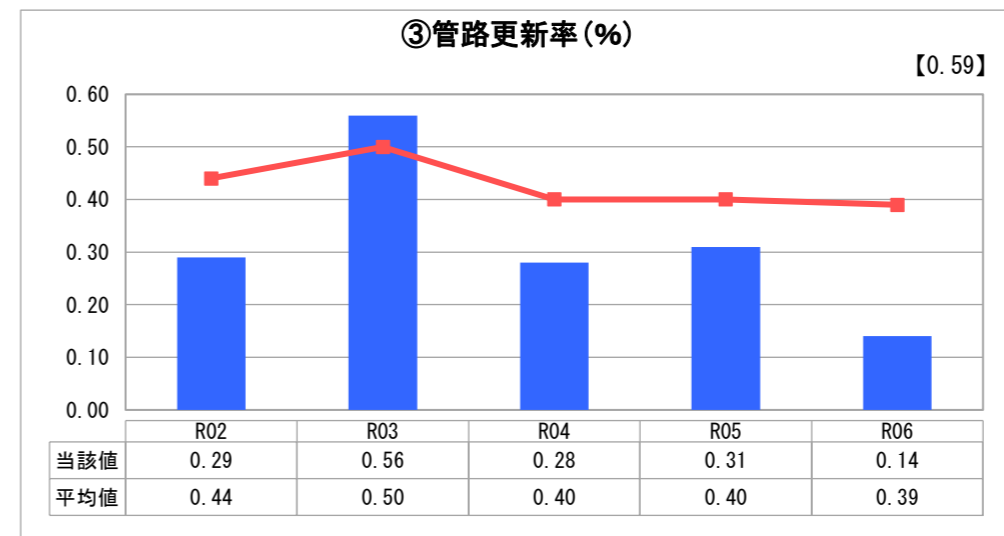
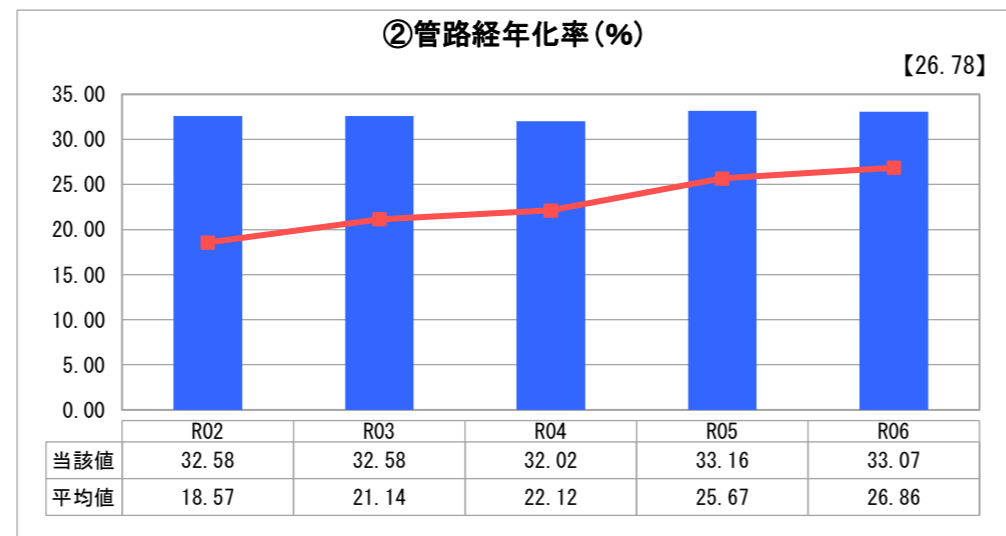
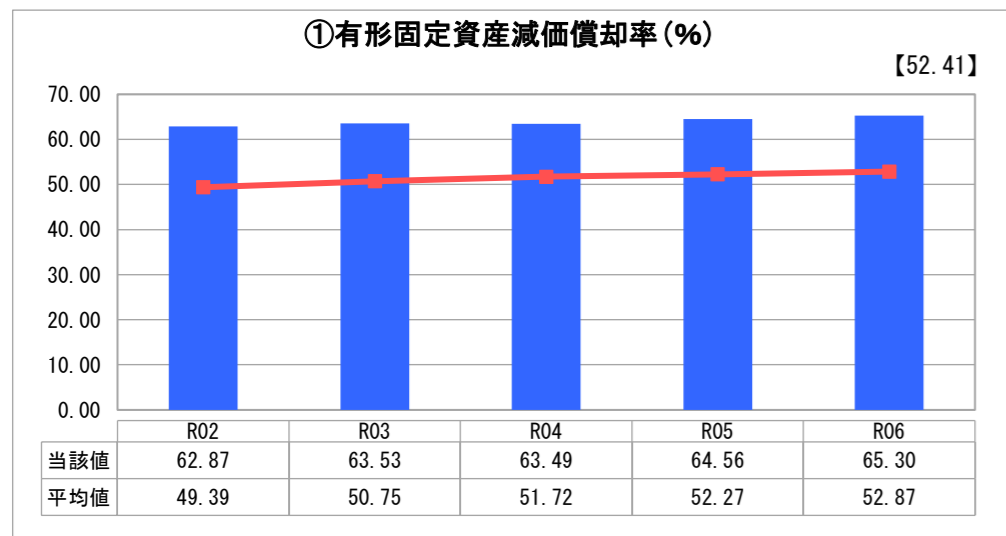
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
12,759	47.40	269.18
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
12,598	46.58	270.46

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率は、全体として収益は減少したが、修繕費が減少したため前年度の値から若干改善したものの類似団体平均値を下回っている。
- ② 累積欠損金は生じていない。今後も欠損金が生じないよう事業を継続していく。
- ③ 流動比率は100%を超えているが、現金預金残高が減少して前年度より数値は低下しており、類似団体平均値も下回っている。短期的な債務に対する支払能力は有しているため、今後も健全な経営を継続するように努める。
- ④ 企業債残高対給水収益比率は、企業債現在残高が減少したことと、物価高騰等支援対策による水道料金の基本料金免除を実施しなかったため、給水収益が改善して前年度から数値が低下した。
- ⑤ 料金回収率は、基本料金の免除を実施せず給水収益が増加したこと、前年度の値から改善した。
- ⑥ 給水原価は類似団体平均値を下回っている。今後、更に効率的な経営を実施するために精査を行う必要がある。
- ⑦ 施設利用率は前年度とほぼ同様の数値であり、今後も適切な規模確保を検討する必要がある。
- ⑧ 有収率は類似団体平均値を上回ったが、前年度の値から低下した。今後も引き続き老朽管の布設替えの推進や計画的な漏水調査を実施すること等により、有収率の更なる向上に努める。

### 2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率については、近年は大規模工事を実施していないため、数値は横ばいとなっている。今後は予算を調整しながら、計画的に更新工事を実施していく。
- ② 管路経年化率は、類似団体平均値を上回っているため、計画的な施設管路の更新が必要である。
- ③ 管路更新率は、管路以外の施設の更新工事を優先したため、前年度から数値が低下した。今後は予算と調整をしながら、管路を含めて計画的に更新を進めていく必要がある。

### 全体総括

経常収支比率は100%以上で推移しているが、前年度に引き続いて類似団体平均値と比較して、数値が下回る結果となっている。今後も給水人口の減少に伴う給水収益の減少と、施設の老朽化等の工事に対応するために水道料金の増大が見込まれる。水道事業の健全な経営のためにも、安定的な財源である給水収益を増加させるために水道料金の見直しを図ることや、現在の施設規模が適切かどうかを検討する必要がある。